

一般質問



幼保一元化（26年度開園へ）

みらいの会 鈴木 昇 議員

議員 現在、村松保育所、幼稚園は、仮設園舎において保育が行われているが、建て替え時には幼保一元化として計画するか伺う。

福祉部長 東北地方太平洋沖地震によりまして、村松保育所と幼稚園の園舎が使用できないということで、仮設園舎の建設を進めてまいったところでございます。

宿幼稚園 につきましては9月1日から仮設園舎でスタートしております。村松保育所につきましては本日から仮設園舎での保育を開始する予定でしたが、

若干支障がありまして、9月中には使用開始したいと考えております。

幼保一元化でございますけれども、保育幼児教育等検討委員会の検討結果を踏まえまして、村松保育所は宿幼稚園との幼保一元化施設として整備する計画としております。

現在は、各村立保育所、幼稚園の職員、学校教育課、指導室を加えたワーキンググループで検討を進めている段階でございます。予定と致しましては、今年度中にカリキュラムをまとめて、24年度

に設計段階に入ります。25年度には幼保一元化施設の整備を完了させたいと考えております。

議員 照沼小学校児童クラブの完成時期を前倒し開所できないか伺う。

福祉部長 照沼小学校の完成は25年1月の予定となっております。新校舎完成前の24年12月には新たな学童クラブを開所させたいと考えております。できる限り前倒しを図ってまいります。



携帯電話のエリアメールで、本村の安全・安心情報の発信を求める

公明党 岡崎 悟 議員

議員 災害時に村は、正しい情報を多様な方法を使って、迅速に伝える必要があります。その一つに、NTTドコモの緊急速報（無料・登録不要）を使って、避難勧告指示や警戒区域情報、洪水情報等を、村内に一斉に配信するエリアメールの導入を求めます。

経済環境部長 エリアメールは、対象エリア（東海村）を限定して配信するため、災害時に有効な情報伝達手段の一つです。防災情報メール配信の導入に向け検討します。



自殺予防「こころの体温計」の導入を求める

議員 昨年、本県での自殺者は約700人でした。住民の健康な環境の向上と自殺者低減のために、心の健康を確認するメンタルヘルスチェック「こころの体温計」を村ホームページに開設を求めます。

福祉部長 本年の12月議会に、「こころの体温計」導入の予算費用を提出する予定です。本村では、自殺対策を重点事業の一つとしております。昨年度より始めたゲートキーパー養成講座は、自殺を考え

ている人を察知して、未然に防ぐという役割を担う人を養成するもので、43名の庁舎窓口職員を対象に実施しました。本年は、12月に民生委員・児童委員を対象に実施する予定です。本村のホームページに「こころの体温計」を導入し、メンタルヘルスチェックの後に、相談窓口等につながるよう、自殺予防対策の一つとして取り組んでまいります。

＜その他の質問から＞

- ・自動販売機の撤去
- ・学校等の熱中症対策
- ・高齢者の聴覚チェック対策